



ルールやマナーを守る

交通ルールを守る目的は、決して「警察に捕まるからシートベルトを締める」「罰金を払わされるから速度を守る」というものではありません。自分の命、みんなの命を守るために、ルールやマナーがあることをしっかりと考えましょう。一人ひとりの意識改革こそが事故防止の第一歩です。ルールとマナーを守って、松前町から悲しい交通事故をなくしましょう。

増えています 高齢者の交通事故

平成20年中、愛媛県での交通事故による死亡者数は82人で、交通事故死亡事故アンダー100は達成できませんでした。しかし、そのうち65歳以上の高齢者は58人で、交通事故全死者の71%を占め、全国平均を大きく上回りました。伊予署管内でも交通死亡事故で亡くなった7人のうち6人が高齢者でした。

これまで、高齢者は被害者というイメージが強かったと思います。しかし、高齢化が進む中、加害者となる事故も多く発生しています。車は便利な反面、凶器になる乗り物です。事故を防ぐのは運転技術ではありません。ハンドルの握るドライバーの気持ち次第です。慣れた道路でも集中して運転しましょう。

高齢者事故防止のポイント

歩くとき

- ☆ 横断するとききは、左右の安全を確かめましょう。
- ☆ 遠回りでも、横断歩道や信号機を利用しましょう。
- ☆ 車が通り過ぎるまで待ちましょう。
- ☆ 通り慣れた道でも油断せず、車が来ないか確かめましょう。
- ☆ 車の直前直後、斜め横断はやめましょう。
- ☆ 夜間に外出するとききは、明るい色の服や反射材を着用しましょう。

運転するとき

- ☆ 運転に集中しましょう。
 - ☆ 交差点では、必ず左右の安全を確かめましょう。
 - ☆ 通り慣れた道でも油断せず、注意して運転しましょう。
 - ☆ 体調が悪いときや夜間、雨天時は、運転を控えましょう。
- #### 自転車に乗るとき
- ☆ 車と車の間の通り抜けはやめましょう。
 - ☆ 進路変更するとききは、必ず周囲の安全を確かめましょう。



今春から交通安全協会などによって交差点に設置されている横断旗。歩行者を守り、設置された横断旗の反射で、横断歩道の存在自体を知らせる効果もあります。

INTERVIEW

伊予警察署 交通課長
警部 今西 祐二



交通事故死者数は全国的に減少しています。その理由は、救急救命医療が発達したこと、自治体の交通安全PRが積極的に行われているからでしょう。また、子どもの事故が少なくなっているのは、保護者や先生方による街頭指導や、地域の見守り隊の活動が効果をあげているからです。特に松前町は、交通安全指導員をはじめ、関係機関、団体、地域の皆さんが、安全なまちをめざして1年中熱心に活動をしていて感謝しています。

最近、道路を横断中の事故が多かったため、横断歩道に横断旗を備え付けていますが、交通指導員が定期的に点検をしてくれています。この横断旗は、歩行者がいなくても旗があるだけでドライバーの視点が変わり、大変効果を発揮しています。

交通事故をなくそうと懸命に頑張っている人たちがいる一方で、平気でルールやマナーを破る人がいます。交通ルールやマナーを守る。この当たり前のことが実行できれば、確実に交通事故は防ぐことができます。

平成21年春の全国交通安全運動の重点目標に、高齢者の交通事故防止があります。これからも“地域の安全は地域で守る”を合言葉に、高齢者に対して交通安全の呼びかけが隣近所でするというね。ぜひ『松前町からは交通事故による犠牲者を1人も出さない』を目標に、交通安全に取り組みしましょう。

平成21年6月1日に
施行される

改正道路交通法のポイント

- 悪質な違反や行為で免許を取り消された者の欠格期間が延長されます
改正前 1年以上5年以下
改正後 3年以上10年以下
- 75歳以上の免許更新時などに「認知機能検査」を実施します